

令和4年度 第1回宗谷地域雇用ネットワーク会議 NEXT

稚内大谷高等学校の取り組み・今後の展望についての報告

令和4年7月7日(木)

教頭(進路指導部長) 木村 泰優

1. はじめに

本校は高等学校新学習指導要領スタートに伴い新入生よりカリキュラムを一層した。学びの本質を追求し確かな学力を醸成しながら大学進学を目指す文理専攻と、「前に踏み出す力」・「考え抜く力」・「チームで働く力」の3つの力(社会人基礎力)を養うことを目的とした地域探究専攻を設け、日々教育活動を展開している。今年度の入学生は定員90名に対して98名の入学者となっている。

2. 進路状況

過去5年間の進路状況(別紙参照)は進学の方がやや多い傾向となっている。(例年進学は55%~60%)進学の内訳は4年制大学より専門学校の方が多。近年では4年連続で国公立大学へ合格者を輩出しているが、進学志向の高まりから高い目標を持ち本校に入学してくる生徒も増えてきた。

就職に関してはほぼ管内(稚内市内)企業より内定をいただいている。地元志向がかなり強いが、地元を離れても構わない生徒は進学に回る傾向がある。

3. 地域連携を意識した教育活動

地域の担い手の確保を目的として、「介護職員初任者研修」・「第二種電気工事士」・「二級土木施工管理技士」の資格取得を目指す選択授業を導入している。特に第二種電気工事士と二級土木施工管理技士の受講生に関しては意識が非常に高く、卒業後は地元企業の期待の新星として意欲的に業務に携わっている。

日頃より地域貢献活動を全校生徒・クラブ単位で行い、地域との繋がりを考えさせている。また、2年生の8~9月にはインターンシップ・3年生では本校独自の企業説明会を実施している。更には3年に1度卒業生からの講話を実施し、社会人になる上で身につけておきたい要素等を話してもらっている。

4. 今後の展望

総合的な探究の時間において、管内関係企業・機関と連携し講演・フィールドワークを効果的に取り入れ、地元の課題解決やビジョンの構築等を積極的に行っていきたいと考えている。また、早期離職防止を目的とした3年次でのインターンシップ等も検討中である。

過去5年間の進路状況

卒業生			進 学				就 職				家業・家事手伝い	就職兼進学
年 度	性 別	人 数	大 学	短 期 大 学	専 門 学 校	未 決 定	道 内		道 外	未 決 定		
							管 内	管 外				
平成29年度	男	53	13	0	12	0	25	1	0	0	2	0
	女	37	3	1	18	0	15	0	0	0		
	計	90	16	1	30	0	40	1	0	0	2	0
	47				41							
平成30年度	男	62	15	0	12	0	31	0	1	1	2	0
	女	45	7	2	20	0	15	1	0	0		
	計	107	22	2	32	0	46	1	1	1	2	0
	56				49							
令和元年度	男	54	19	0	16	2	14	2	0	0	0	0
	女	32	4	3	11	1	12	0	0	0		
	計	86	23	3	27	3	26	2	0	0	1	0
	57				28							
令和2年度	男	56	12	0	15	0	26	1	0	0	2	0
	女	34	5	0	16	0	12	0	0	0		
	計	90	17	0	31	0	38	1	0	0	3	0
	48				39							
令和3年度	男	47	11	0	12	0	19	2	0	0	3	0
	女	48	3	5	19	0	20	1	0	0		
	計	95	14	5	30	0	39	3	0	0	3	0
	50				42							